

教育文化の拠点づくり

1. 1億円

■草薙・東静岡副都心のランドデザイン策定

… 494万円

草薙・東静岡副都心における教育機関等の集積を最大限に活かしたまちづくりを進めていくため、副都心エリアの都市デザイン策定に着手する。

- ・ハード事業及び新たなソフト事業の検討
- ・県が行う公共事業（県立図書館整備）との調整 等

■JR草薙駅北口国道1号線横断施設の具体化

… 700万円



常葉大学・静岡サレジオが立地するJR草薙駅の北側地区において、駅前広場やアクセス道路等の整備後の周辺道路の利用状況を踏まえ、国道1号線の横断対策や周辺道路の安全対策を行う。

■「静岡シチズンカレッジこ・こ・に」… 1,993万円

市が実施する人材育成事業を一つに束ねた総合的な学び舎「静岡シチズンカレッジこ・こ・に」を実施する。

- ・総合課程 地域リーダーを養成する講座 2講座
- ・環境、観光、歴史、福祉等の分野別講座 17講座
- ・将来地域を担う高校生を対象とした講座 2講座



専門講座 英語 de おもてなしサポーター養成講座の様子

「健康長寿のまち」の推進

11. 0億円

■認知症予防に向けての体制整備 … 1,000万円

認知症予防の拠点機能を中心とした産学官民が連携するしくみを構築する。

- ・市民に対する調査の実施
- ・アドバイザーによる助言
- ・認知症予防事業の企画会議、ワーキングの実施



■日本一おいしい学校給食の提供事業

… 9,156万円

- ・わくわく給食プロジェクト 保護者負担の給食費に、1食あたり300円程度の食材料費を加えた特別献立を提供する。



わくわく給食プロジェクトの例 (釜揚げしらすや桜えび)

- 【回数】年6回
- 【対象】全市立小中学校
- 【献立】静岡のブランド食材を使った献立を提供
- ・「全国学校給食甲子園」への挑戦

■高齢者就労促進のためのワンストップ窓口開設

… 4,391万円



コンビニエンスストアと連携した就職説明会の様子

市内の福祉団体や経済団体と連携し、高齢者就労に関わる情報を一元的に管理し、ワンストップ窓口を静岡庁舎2階に設置する。窓口には市やシルバー人材センターの職員が常駐し、研修会、説明会など幅広い情報を提供する。

■フレイルチェックによる介護予防の促進

… 198万円

- ・市民参加型フレイル予防事業の実施 65歳以上の高齢者を対象に、「フレイルチェック」を実施し、フレイル予防の取組みを推進する。フレイルチェックは、ボランティアの市民サポーターによる運営とすることで、市民主体事業としての普及を目指す。

フレイルとは…健常から要介護へ移行する中間の段階

「まちは劇場」の推進

4. 8億円

■「まちは劇場」のブランディングと国際化推進

… 4,446万円

- ①ブランディング事業
 - ・WEB、SNSを活用したプロモーションの展開
 - ・フェスにおける統一タグラインによる街中への展開
- ②国際文化交流事業
 - ・釜山市とのフェスティバル交流
 - ・国際文化交流を旨としたシンポジウムの開催



統一タグライン「ON STAGE SHIZUOKA」

■夜の舞台演出事業 … 5,140万円

- ・(仮称)「駿府灯り回廊」事業
 - 【概要】駿府城公園内ライトアップ&パフォーマンス
 - 【時期】2019年8月
- ・日本平ナイトツーリズム推進事業
 - 【概要】夜景サミット2019の開催 日本平夢テラス(回廊)光&音の演出
 - 【時期】2019年10月
- ・巴川周辺・清水港線跡遊歩道イルミ&ライトアップ
 - 【時期】2019年10月～2020年2月



駿府灯りの回廊イメージ

志政会

しせいはい

だより

平成31年3月発行

第14号

発行/静岡市議会 志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-254-2111
(内4505)
FAX 054-653-3412

志政会代表質問



平成31年2月議会において、池邨善満政調会長が志政会を代表し質問にたち、市長の政治姿勢や静岡市総合戦略について、成長性、健全性、効率性の向上を求めました。(以下質問抜粋)

Q 大谷・小鹿地区の「工業・物流エリア」への企業立地ニーズは、どれだけあるのか。また、企業立地がスムーズに進むためにはどのようなことが必要か。

A 現在までの企業への聞き取り調査などの結果、合計50社・60haを超えるニーズを把握しており、高い関心が寄せられている。今後、整備される約17haの産業用地においては、約650人の雇用創出が見込まれる。企業立地がスムーズに進むためには、地権者の取りまとめや、企業との交渉窓口などを担う組織の設置が必要となるため、今後は、このような組織が早期に立ち上がるよう、土地区画整理組合や地権者などに対するサポートを行っていく。

Q 「静岡市のお茶」の消費拡大に向け、市はどのように関わっていくのか。また、海外の消費者に向けたPRをどのように進めていくのか。

A 現在、本市では「静岡おみやプロジェクト」などにより、商品開発から販路開拓に至るまで、専門家による一貫した支援に取り組んでいる。今後も、お茶の個性や特徴をわかりやすく紹介するなど、消費者の視点に立った取組を進めていく。海外でのPRについては、現在、主にイタリア・ミラノ市とドイツ・ベルリン市において、お茶のプロモーションに取り組んでおり、試飲販売や手揉み茶の実演等により、「静岡市のお茶」の認知度向上と取扱量増加を図っている。今後は、「静岡市お茶大使」であるダニエ・マッサーロ氏や在外公館等と連携して商圏の拡大を図り、輸出量の増加に努めていく。

Q 障がい者の工賃向上と就労のため、どのような取組をしているのか。

A 「障害者就労工賃向上モデル事業」の事例報告会を開催したほか、「東京ガールズコレクション」など多くのイベントでの販売機会拡大に努めた。また、企業とのマッチングを目的とした説明会「就フェス」を平成30年7月に開催。23社の企業関係者が参加し、就労移行支援事業所と企業との関係構築を図ることができ、本年4月からの就労にも結びついている。

Q 清水都心のあるべき姿を、どのように市民に示していくのか。

A 現在、新清水庁舎や海洋文化拠点施設の事業に着手し、周辺まちづくりへの寄与も意識しながら検討を進めているが、清水都心には、清水駅北東エリアなど、具体的な方向性が定まっていない地域もあり、都心全体の将来像を具体化するには、民間開発等の担い手の参画や、港湾の整備・利活用計画との整合などを図りながら進める必要がある。このような認識のもと、平成30年4月から、本市と県、港湾企業等が参加して組織した「清水みなとまちづくり公民連携協議会」において、清水都心周辺の企業・地権者のヒアリングなども行いながら、途中経過の情報発信や、ワークショップの開催なども実施してきた。今後、公民連携協議会は、とりまとめたランドデザインを4月に市民の皆様へ説明し、共に考える機会を設けながら、7月の清水港開港120周年記念行事の機会に正式に公表を行っていく予定。

Q 「高校生まちづくりスクール」の現在までの取組状況と来年度の予定はどうか。

A 高校生まちづくりスクールは、若者からの提言を機に、平成29年度から開始した。この講座は、高校生が座学だけでなく、実際に地域へ出て活動することが特長で、平成30年度は27名が講座に参加している。具体的には、ゴミのポイ捨ての防止や中心市街地以外の賑わい創出など、高校生が自分たちなりにまちづくり活動を展開している。平成31年度は、市民活動団体と高校生とが出会う機会を増やすことで、参加者の活動が広がり、深い学びを得られる講座としていく。また、この講座を「静岡シチズンカレッジこ・こ・に」のプレ課程として位置づけ、シチズンシップに富んだ人材の育成を強化していく。

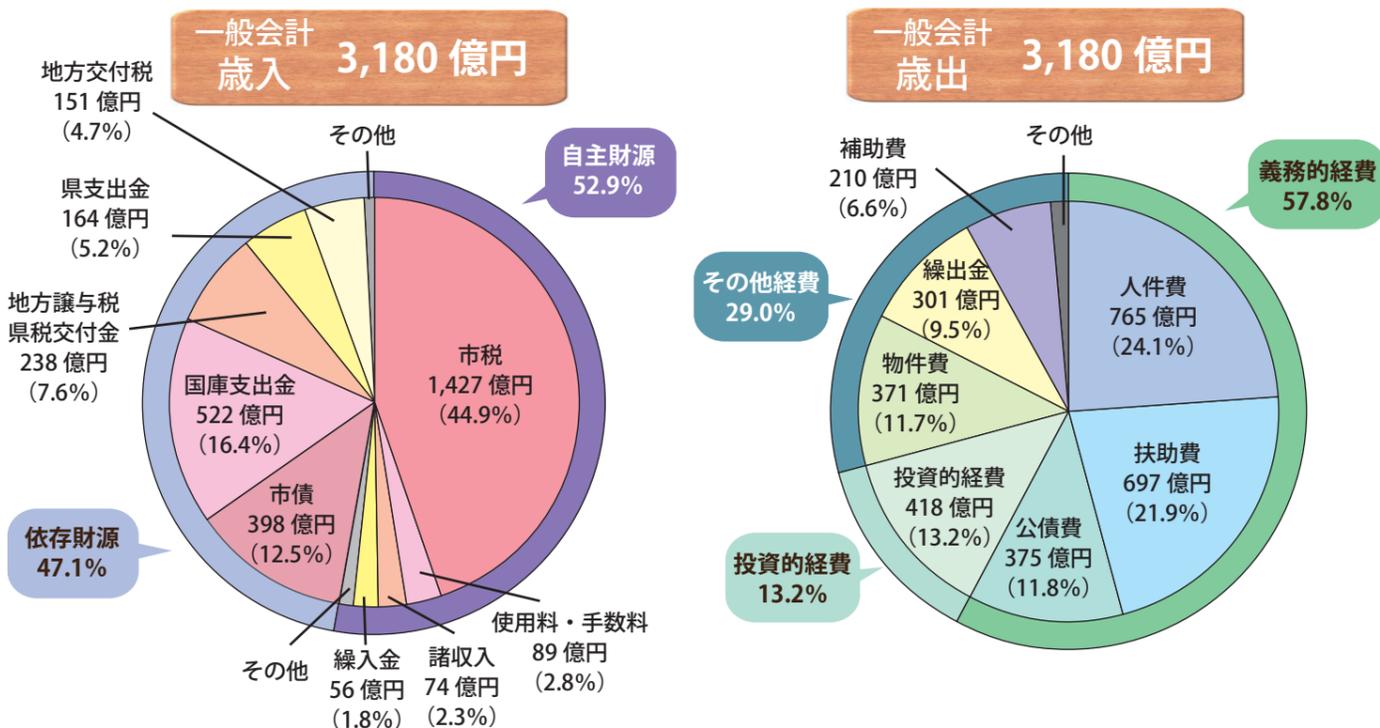




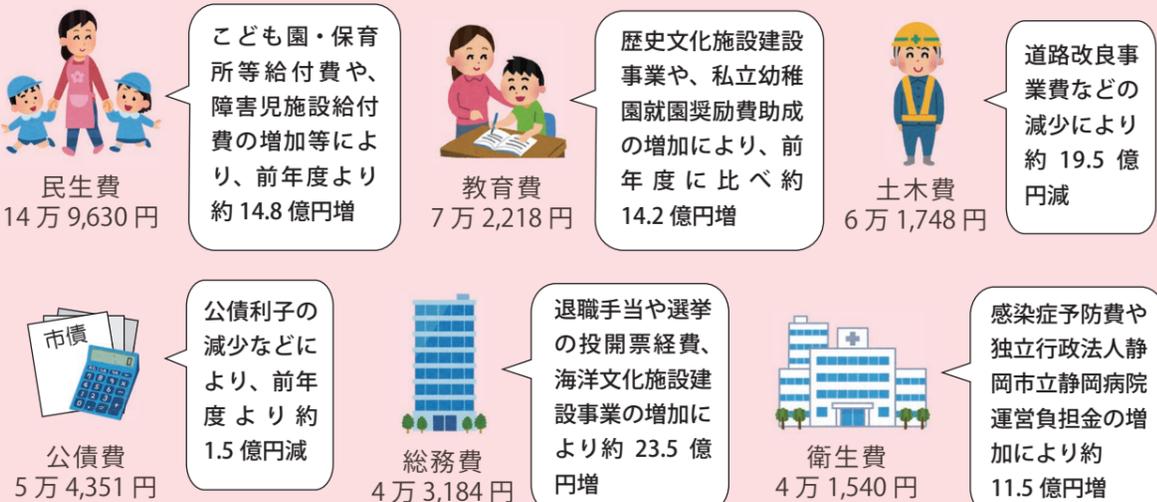
当初予算

平成31年度当初予算一般会計 3,180 億円 (前年度比 +1.9%)

平成31年度当初予算の一般会計は3,180億円で、前年度比58億円(1.9%)増と過去最大規模となりました。歳入の中心となる市税は、3%増の1,427億円で、企業の業績好調により市民税が5%近く伸びると見込んでいます。また主な歳出は、人件費増や幼児教育の無償化で義務的経費が膨らみ、0.9%増の1,839億円。投資的経費は、歴史文化施設や清水区の海洋文化施設など大型ハード事業費が計上された一方、新設道路の減少で道路改良事業が減少し、全体では2億円増にとどまっています。借金にあたる市債は398億円を発行。市債残高は4,869億円となり、市民1人当たり69万3,000円の借金がある計算となります。



市民1人当たりの予算 458,091 円はどのように使われます



*一般会計のそれぞれの額を平成31年2月の推計人口で割りました。

歴史文化の拠点づくり 19.3億円

■歴史文化施設の建設工事推進 … 14億6,380万円

歴史文化のまちづくりの拠点となる歴史文化施設を旧青葉小跡地へ建設する。



歴史文化施設外観イメージ

「徳川」「今川」「東海道」の歴史を伝える博物館として2021年に完成予定。

- 2019年度～2021年度 建設工事、展示制作、資料調査・収集、開館準備
- 2021年度 供用開始

■今川義元公生誕五百年祭の開催 … 6,600万円

- 今川復権まつり
 - 【日時】2019年5月3日～6日
 - 【場所】駿府城公園内及び周辺
- 今川義元公生誕五百年祭 広報大使「今川さん」
- 今川シンポジウム
 - 【日時】2019年5月19日
 - 【場所】静岡市民文化会館

■駿府城跡天守台発掘調査・見える化 … 1億1,938円



家康の天守台に加え、昨年新たに発見された豊臣の遺構を含めた野外展示に向け、基本計画策定に着手する。

現場見学会の様子

■駿府城公園中堀における葵船の運行 … 3,770万円

2020年春の葵船本格運行実施を目指し、船頭養成や、乗船場等の整備を実施する。



H30年春 運行実験の様子

■市民文化会館のリニューアルに向けた計画策定 … 2,003万円



現在の市民文化会館

市民文化会館に求められる機能や施設の整備手法などを検討し、今後の整備方針を決定する。

海洋文化の拠点づくり 20.2億円

■海洋文化施設建設事業 … 14億1,993万円

日の出地区に建設予定の海洋文化施設の建設予定地として、東洋製缶清水工場跡地約1万㎡の土地を購入する。



海洋・地球の総合ミュージアム 展示計画 (イメージ)

■新清水庁舎の建設 … 2,023万円

建設・防災・まちづくり等の各分野の有識者で組織される審議会を設置し、整備事業者を選定する。また、JR清水駅と新清水庁舎を接続するペデストリアンデッキの予備設計を実施する。

- 2020年度 整備事業者決定
- 2022年度 施設完成、供用開始

■新興津ビーチパーク海づり施設の整備促進 … 4億200万円



県と連携し整備を進めている(仮称)新興津ビーチパークの拠点として、海づり公園を整備する。今年度は、基礎工事及び栈橋工事を行う。2022年度、暫定供用開始予定。

■駿河湾フェリーの運航支援 … 2億5,800万円

県及び3市3町が駿河湾フェリーを運行させるため、新たに設立する法人に対し、乗船客数が20万人を下回った場合、船舶の維持管理費を負担する。



また、市内の小学生にフェリー無料乗船券を配布する。

【期間】6月～9月 【対象】市内小学生先着4,000人

■清水港開港120周年記念事業 … 4,500万円



開港120周年を迎える清水港で、「海フェスタしずおか」を開催する。

- 【期間】2019年7月13日(土)～8月4日(日)
- 【場所】日の出会場(マリンパーク等) 江尻会場(マリナート等)
- 【内容】静岡 Only one & No.1 フェア、シンポジウム 次世代モビリティ展示・体験 等

清水港開港110周年での海王丸寄港の様子



展示予定の次世代モビリティ